

マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー

エム・エー

商品型番：**MA-88**



この度は「マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー | MA-88」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。ご使用の際にはこの説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

●目次	2	●SD/USBメディアプレーヤー	
●セット内容	2	■SD/USBメディアの挿入	13
●安全上のご注意	3	■SD/SDHCカードを再生する	13
●使用上のご注意	4	■USBメモリを再生する	13
●各部の名称	5~6	■フォルダ検索	14
●ご使用前の準備	7	■プログラム再生	14
●レコード・プレーヤー		■リピート再生	14
■ご使用の前に	8	●外部入力	
■レコードを再生する	8	■外部機器の音声を聴く	15
■45回転アダプタについて	9	●音声出力	15
■レコード針について	9	●録音をする	
●CDプレーヤー		■CDを録音する	16
■CDを聴く	10	■【レコード】【カセットテープ】【ラジオ】	
■プログラム再生	10	【外部入力】を録音する	17
■リピート再生	11	■SD/USBに録音したファイルを消去する	18
●カセットテープ		●主な仕様	19
■カセットテープを聴く	11	●交換用レコード針をお求めのお客様へ	19
●AM / FM ラジオ		●保証とアフターサービス	20
■ラジオを聴く	12		


セット内容


※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

- MA-88 本体
- AC アダプタ
- AM ラジオ用ループアンテナ
- 45 回転レコード用アダプタ ※本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります。
- 交換用レコード針 × 1 ※取扱説明書の袋に同梱してあります。
- リモートコントローラー
- 取扱説明書 (本誌)


安全上のご注意


※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。


 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。


警告


 ●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。


 ●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。


 ●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因になります。


 ●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

 ●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。


 ●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。


 ●禁止
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。火災・感電の原因になります。


 ●ぬれた手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。


 ●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

【記号の意味】


 の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。


 の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。


 の記号は「しなければならない行為」を示します。


 ●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。


注意


 ●くらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

 ●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

 ●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

 ●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

 ●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

 ●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

●使用上のご注意

本機の取扱いについて

- 極端な湿度、日差しが強い場所には放置しないでください。
- 窓を閉めきった自動車内での放置はしないでください。

電源について

本機は無操作・無動作の状態が約8~10分続いた場合、自動的に電源が切れ、スタンバイモードになる様に設計されています。これは故障ではありませんので、ご安心ください。

結露について

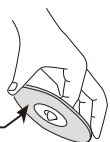
本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

●ディスクの取扱い方

- ・再生面には手をふれないでください。

再生面



＜ケースから出すとき＞
センターホルダーを
押さえ



再生面に触れないように
持って取り出します。



上から押さえ
入れます。

●ディスクの保管の仕方

- ・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 本機を持ち運ぶときは
- ・ディスクを必ず取出してください。
- 入れたまま持ち運ぶと、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上の注意

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください、ディスクを痛める原因となります。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

- ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。



ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから、絶対に使用しないでください。

- CD-R/CD-RW に記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。

- コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

カセットテープの取扱いについて

- 再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので使いすぎにはご注意ください。
- 先のががったもので着物をはがそうとしないでください。
- テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



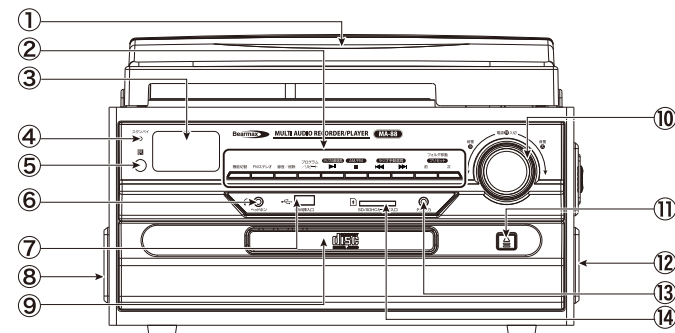
- 古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので使用しないでください。
- テープの巻きつきがきつくと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻戻してください。
- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
- 60分以上の長時間テープはご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。
- TYPE1 (ノーマル) テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。

<大切な録音を守る一誤消去防止>

ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。穴をゼロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

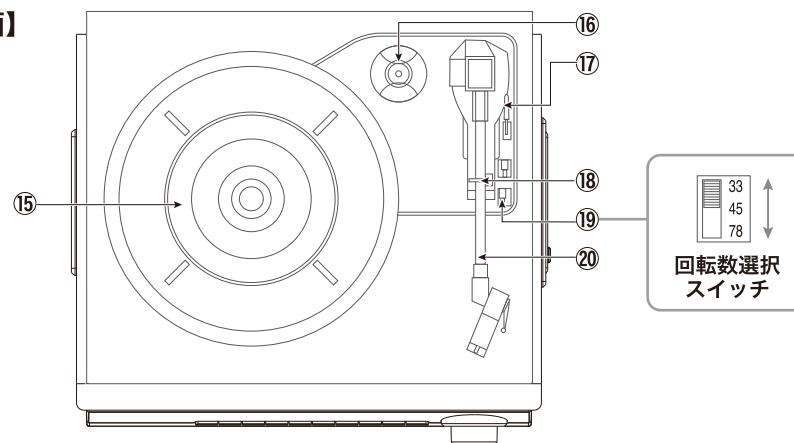
●各部の名称

【本体前面】



- ①レコードプレーヤー・カバー 【②各種操作ボタン(※左から) ②-①機能切替ボタン ②-②FM ステレオボタン ②-③録音/削除ボタン ②-④プログラム/リピートボタン ②-⑤再生/一時停止/ラジオ自動受信ボタン ②-⑥停止/AM/FM 切替ボタン ②-⑦前スキップ/ラジオ手動選局(戻る)ボタン ②-⑧次スキップ/ラジオ手動選局(進む)ボタン ②-⑨前ボタン:フォルダ移動/プリセット ②-⑩次ボタン:フォルダ移動/プリセット】
③液晶表示部 ④電源インジケータ ⑤リモコン受信部 ⑥ヘッドホン端子
⑦USB 挿入口 ⑧スピーカー ⑨CDトレイ ⑩電源/音量調整ツマミ
⑪CDトレイ開閉ボタン ⑫スピーカー ⑬外部入力端子 ⑭SD/SDHC カード挿入口

【本体上面】

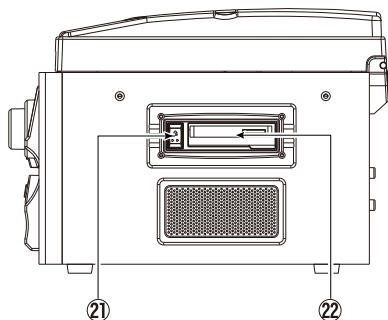


- ⑮ターンテーブル ⑯45 回転用アダプタ ⑰リフトレバー ⑱アームレスト
⑲回転数選択スイッチ ⑳アーム



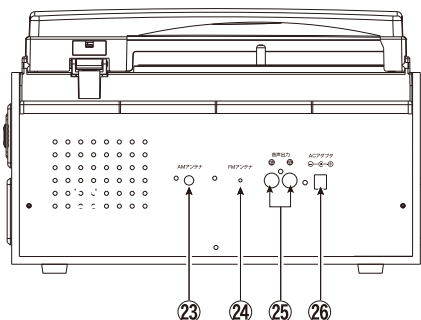
●各部の名称

【本体右側面】



- ②1 カセットテープ操作ボタン
- ②2 カセットテープ挿入口

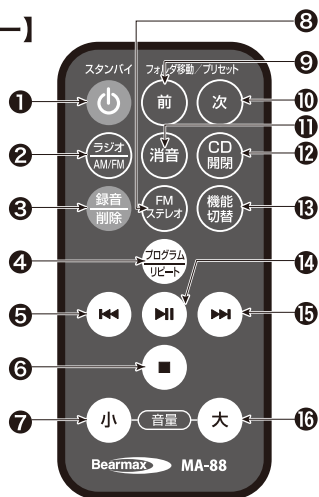
【本体背面】



- ②3 AMアンテナ差込口
- ②4 FMアンテナ
- ②5 音声出力端子
- ②6 ACアダプタ差込口

【リモートコントローラー】

- ①電源入切
- ②ラジオ：AM/FM
- ③録音／削除
- ④プログラム／リピート
- ⑤前スキップ
- ⑥停止ボタン
- ⑦音量 小
- ⑧FM ステレオ
- ⑨前ボタン：フォルダ移動／プリセット
- ⑩次ボタン：フォルダ移動／プリセット
- ⑪消音



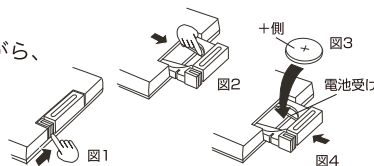
- ⑧ CDトレイ開閉
- ⑩機能切替
- ⑫再生／一時停止
- ⑬次スキップ
- ⑭音量 大

【電池について】

本製品のリモコンで使用する電池の型番は「CR2025」です。お求めの際は型番をお間違えない様ご注意ください。

■電池の交換方法

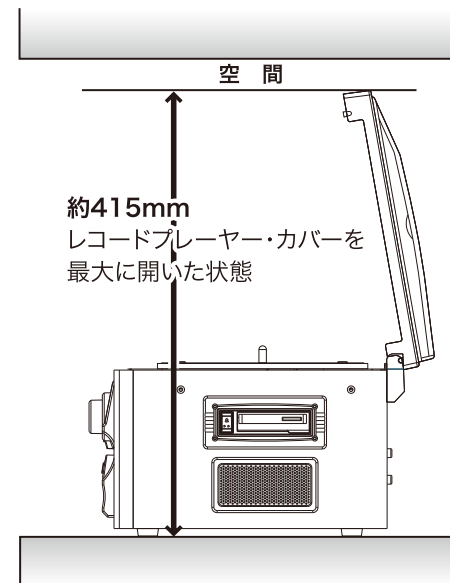
- ①リモコンの裏面にあるタブを矢印の方向に引きながら、電池受けを引き出します。(図1/2)
- ②ボタン電池「CR2025」を、+プラス側を上にして電池受けに入れます。(図3)
- ③電池受けを元に戻します。(図4)



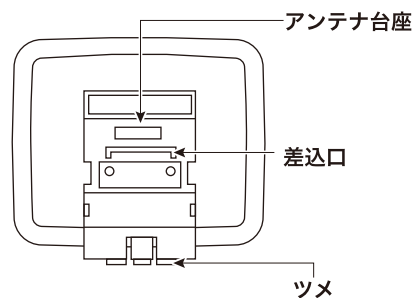
●ご使用前の準備

■設置する

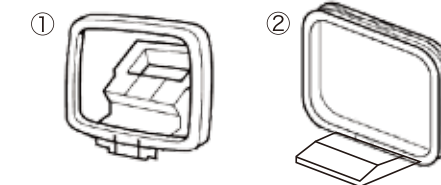
- 1 本体を箱から取出し、硬く平らな場所に置きます。
①レコードプレーヤー・カバーがきちんと開くように設置場所の上部も十分に空間を取ってください。
- 2 本体背面の②6 ACアダプタ差込口に ACアダプタの端子を挿し込みます。
- 3 ACアダプタのプラグをコンセントに挿し込みます。
- 4 ③液晶表示部がうっすら青く、④電源インジケータが赤く点灯します。
- 5 本体背面の②3 AMアンテナ差込口に AMラジオ用ループアンテナを挿し込みます。
- 6 本体前面⑩電源入切／音量調整ノブを押し、電源を入れます。
④電源インジケータが消灯し、③液晶表示部が青く点灯します。



●AMラジオ用ループアンテナについて



●組み立て方



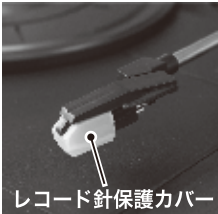
台座部分を折り線に沿って倒す様に折り曲げ、ツメを差込口に差込みます。

レコード・プレーヤー

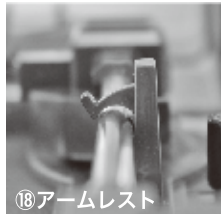
■ご使用の前に

- ①レコードプレーヤー・カバーを開けます。
- ⑳アーム先端のカートリッジに付いているレコード針保護カバーを外します。
- ⑮ターンテーブルにお聴きになりたいレコードを置きます。
- ⑱アームレストの固定用のツメを外側に押し、㉑アームのロックを解除します。

●レコード針保護カバーを外す



●アームのロック解除



■レコードを再生する

- ②-①機能切替ボタンを押し、“PHON”を選びます。
※③液晶表示部に“PHON”と表示されている事をご確認ください。
- 再生するレコードに合わせ、⑲回転数選択スイッチで回転数を選びます。
- ⑰リフトレバーを奥側に倒すと、㉑アームが上がります。
- カートリッジのツマミを持ち、㉑アームをターンテーブル側に動かします。
- ㉑アームを任意の位置で合わせ、⑰リフトレバーを前側に倒すと、針がレコード盤の上に降り、レコードが再生します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を終了する場合は、⑰リフトレバーを奥側に倒してアームを上げます。
- ㉑アームを⑱アームレストに戻し、⑰リフトレバーを前側に倒します。



※ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
※レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。
※レコード盤をターンテーブルに長時間放置しないでください。

■45回転アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の⑩45回転用アダプタを使用してください。



■レコード針について

○針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

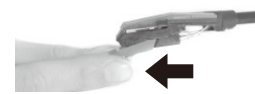
○針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、約200時間を目安に針を交換してください。
※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方



針ホルダを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。



前方へ引き抜きます。

針の入れ方



矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



クリック感のあるところまで上に引き上げます。



※ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
※レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。

CDプレーヤー

■CDを聴く

- ②-①機能切替ボタンを押し、“[]” を選びます。
- ③液晶表示部に “[]” → “[] (点滅)” → “N” が順に表示されます。
※CD がすでに入っている場合は自動的に再生します。
- ①CDドア開閉ボタンを押し、CDトレイを開けます。③液晶表示部に “OPEN” と表示されます。
- お手持ちのCDをCDトレイに置き、①CDドア開閉ボタンを押し、CDトレイを閉じます。“[]” → “[] (点滅)” が順に表示されます。
- CDを読み込み、自動的に再生します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、②-⑥停止ボタンを押します。

■プログラム再生

本製品は曲をお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。1回の設定で最大30曲（MP3の場合は60ファイル）まで、記憶させる事が出来ます。

- 上記「■CDを聴く」の手順に従い、再生したいCDを挿入します。
- CDを読み込み、自動的に再生しますので、②-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- ②-④プログラムボタンを押します。③液晶表示部に “MEM” “P-1”（設定1曲目）が点滅表示されます。
- ②-⑧次ボタンを押すたびに、“1...2...” と表示されますので、設定したい曲を選びます。
- ②-④プログラムボタンを押します。③液晶表示部に “MEM” “P-2”（設定2曲目）が点滅表示されますので、上記の手順に従って設定したい曲を選びます。
- 設定が終わったら、②-⑤再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、②-⑥停止ボタンを押します。
- もう一度、②-⑥停止ボタンを押すと、プログラム再生が終了します。
この時③液晶表示部の “MEM” は非表示になります。
※CDトレイを開けると、記憶されたプログラムは消去されます。

■リピート再生

- 前頁「■CDを聴く」の手順に従い、CDを再生します。
- 再生中に②-④リピートボタンを押します。
※1回押すと再生中の曲を繰り返し再生し、もう1回押すと保存されている全ての曲を繰り返し再生します。

※停止中に②-⑤再生/一時停止ボタンを押すと再生、再生中に押すと一時停止します。

※②-⑧次スキップボタンを押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。

※②-⑦前スキップボタンを押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。

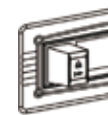
カセットテープ

■カセットテープを聴く

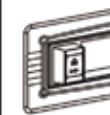
- ②-①機能切替ボタンを押し、“TAPE” を選びます。
③液晶表示部に “TAPE” と表示されます。
- お手持ちの音声の収録されているカセットテープを、②カセットテープ挿入口に挿入します。
※カセットテープのテープ露出面を奥側にして挿入して下さい。
- カセットテープは挿入すると自動的に再生を開始します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、①カセットテープ操作ボタンを奥まで強く押します。
再生が止まり、カセットテープが取出されます。

①カセットテープ操作ボタンについて

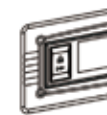
※本機のカセットプレーヤーでのボタン操作は右図の通りです。



【再生】



【早送り】



【取出し】

※本機ではカセットテープへの録音は出来ません。
※本機では巻き戻しは出来ません。

●AM/FMラジオ

■ラジオを聴く

【自動選局】

- 1 ②-①機能切替ボタンを押し、“TUNE”を選びます。
- 2 ②-⑥AM/FM切替ボタンでお好みのバンドに合わせます。
- 3 ②-⑤ラジオ自動受信ボタンを押します。
- 4 ラジオ局が検出されると自動的にプリセット番号1から本体に記憶されます。
- 5 ②-⑩プリセット/次ボタンもしくは②-⑨プリセット/前ボタンいずれかを押し、お聴きになりたいラジオ局を選びます。

【手動選局】

- 1 ②-①機能切替ボタンを押し、“TUNE”を選びます。
- 2 ②-⑥AM/FM切替ボタンでお好みのバンドに合わせます。
- 3 ②-⑧次スキップボタンもしくは②-⑦前スキップボタンいずれかを1-2秒押しします。
- 4 ラジオ局が検出されると自動的に停止し、受信します。
- 5 ご希望の局の周波数が合うまで、3、4の手順を繰り返します。

【ラジオ局のプリセット】

- 1 【手動選局】の順に従い、お好みのラジオ局を選びます。
- 2 ②-④プログラムボタンを押します。
※③液晶表示部に“MEM”と“P□!”が表示されます。“□!”の部分が点滅します。
- 3 ②-④プログラムボタンを押し、1局目のプリセットを完了させます。
※2局目以降をプリセットする場合は、上記1~3の手順を繰り返します。
- 4 ②-⑩プリセット/次ボタンもしくは②-⑨プリセット/前ボタンいずれかを押し、記憶されたラジオ局を選びます。

【FMステレオの受信】 ②-②FMステレオボタンを押し、モノかステレオを選びます。ステレオ受信時は③液晶表示部に“ST”のアイコンが点灯します。
※ステレオ電波が弱い場合は通常のモノラルで受信してください。

AM：背面に接続したループアンテナで受信します。受信状態が悪い場合はループアンテナの角度や設置場所を変えると改善される場合があります。

FM：本体背面から伸びているワイヤーアンテナで受信します。受信状態が悪い場合はワイヤーアンテナの角度や方向を変えると、改善される場合があります。

●SD/USBメディアプレーヤー

本機またはパソコン等で録音・保存されたSD/SDHCカードとUSBメモリ内のMP3ファイルを再生する事が出来ます。

■SD/USBメディアの挿入

- ※メディア挿入時は必ず挿入方向をお確かめの上、挿入してください。
誤った方向に挿入すると、メディアが抜けなくなったり、本体及びメディアが破損する場合がございます。
- ※microSD、miniSDカードをご使用の場合は、必ずSDカードアダプター(別売)に入れてから挿入してください。そのまま挿入されますと取出せません。

■SD/SDHCカードを再生する

- 1 ⑭SD/SDHCカード挿入口に録音済みのSDもしくはSDHCカードを挿し込みます。
- 2 ②-①機能切替ボタンを押し、“[RR]”を選びます。
- 3 ③液晶表示部に“SD”のアイコンが点灯し、保存されているファイル数が表示されます。
- 4 自動的に再生が始まります。
- 5 ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 6 再生を停止する時は、②-⑥停止ボタンを押します。

■USBメモリを再生する

- 1 ⑦USB挿入口に録音済みのUSBメモリを挿し込みます。
- 2 ②-①機能切替ボタンを押し、“[U5]”を選びます。
- 3 ③液晶表示部に“USB”のアイコンが点灯し、保存されているファイル数が表示されます。
- 4 自動的に再生が始まります。
- 5 ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 6 再生を停止する時は、②-⑥停止ボタンを押します。

※再生中に②-⑧次スキップボタンを押すと次曲に進み、長押しすると早送り再生をします。

※再生中に②-⑦前スキップボタンを押すと前曲に戻り、長押しすると早戻し再生をします。

※SD/USBが認識されない場合、お手持ちのパソコン等で認識されるかご確認ください。

●SD/USBメディアプレーヤー

■フォルダ検索

SDカード/USBメモリ内のファイルが複数のフォルダに分かれて保存されている場合、フォルダを検索して、選ぶ事が出来ます。

- ②-⑩次ボタン:フォルダ移動もしくは②-⑨前ボタン:フォルダ移動を押し、フォルダを検索します。③液晶表示部にフォルダ番号“F 001”と表示されます。
- 再生したいフォルダが決まったら②-⑤再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。

■プログラム再生

本製品はSDカード/USBメモリに保存された音楽ファイルをお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。1回の設定で最大30曲（MP3の場合は60ファイル）まで、記憶させる事が出来ます。

- 前頁「■SD/SDHCを聴く」「■USBメモリを聴く」の手順に従い再生の準備をします。
- 自動的に再生しますので、②-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- ②-④プログラムボタンを押します。③液晶表示部に“MEM” “P-01”（設定1曲目）が点滅表示されます。
- ②-⑧次ボタンを押すたびに、“001...002...”と表示されますので、設定したい曲を選びます。
- ②-④プログラムボタンを押します。③液晶表示部に“MEM” “P-02”（設定2曲目）が点滅表示されますので、上記の手順に従って設定したい曲を選びます。
- 設定が終わったら、②-⑤再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、②-⑤停止ボタンを押します。
- もう一度、②-⑤停止ボタンを押すと、プログラム再生が終了します。
この時③液晶表示部の“MEM”は非表示になります。

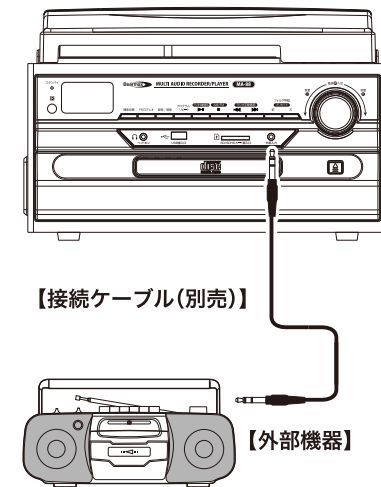
■リピート再生

- 前頁「■SD/SDHCを聴く」「■USBメモリを聴く」の手順に従い再生します。
- 再生中に②-④リピートボタンを押します。
※1回押すと再生中の曲を繰り返し再生し、もう1回押すと保存されている全ての曲を繰り返し再生します。

●外部入力

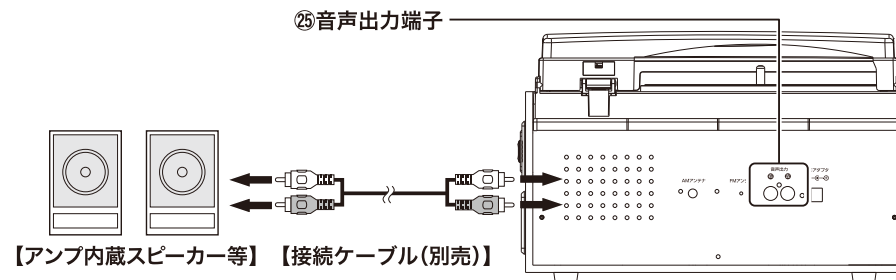
■外部機器の音声を聴く

- ⑬外部入力端子とお手持ちの外部機器を接続します。
- ②-①機能切替ボタンを押し、“AUX”を選びます。
- ③液晶表示部に“AUX”が点灯します。
- 外部機器を再生します。本機のスピーカーから音声が出力されます。
- ⑩音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、外部機器を停止します。



●音声出力

本機では本体背面の⑮音声出力端子にアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し音声を出力出来ます。また⑥ヘッドホン端子にヘッドホンやイヤホンも接続出来ます。



- ※本機側端子の形式はRCAピン端子です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
- ※接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声をお聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
- ※音量の調整は接続した機器側で行ってください。

●録音をする

本機の【CD】【レコード】【カセットテープ】【ラジオ】【音声入力】各機能の音声をSD/USBに録音する事が出来ます。

ここではSD/SDHCカードに録音する手順を説明します。USBメモリに録音する場合は“SD/SDHCカード”の部分“USBメモリ”に置き換えてください。

※【CD】とその他の機能は録音方法が異なります。

■CDを録音する

●1曲を選んで録音する

- 1 「■CDを聴く」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
- 2 CDを読み込み、自動的に再生しますので、②-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- 3 CDに収録されている曲数が③液晶表示部に表示されます。
※(例：6曲入の場合“006”)
- 4 ②-⑧次スキップボタンを押して、録音したい曲を選びます。
- 5 ⑭SD/SDHCカード挿入口にSD/SDHCカードを挿入します。
- 6 ②-③録音/削除ボタンを押すと③液晶表示部に“REC.”→“ONE”の順に点滅表示されます。
- 7 再度②-③録音/削除ボタンを押すと③液晶表示部に“WFI.”が一瞬表示され“REC.”“SD”のアイコンが点滅し再生/録音が始まります。
※録音中は③液晶表示部に“REC.”→曲番号→経過時間が繰り返し表示されます。
- 8 曲が終わると自動的に録音を停止します。③液晶表示部に“END”と表示されます。

●アルバム全曲録音する

- 1 「■CDを聴く」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
- 2 CDを読み込み、自動的に再生しますので、②-⑥停止ボタンを押して再生を停止します。
- 3 CDに収録されている曲数が③液晶表示部に表示されます。
※(例：6曲入の場合“006”)
- 4 ⑭SD/SDHCカード挿入口にSD/SDHCカードを挿入します。
- 5 ②-③録音/削除ボタンを押すと③液晶表示部に“REC.”→“ONE”の順に点滅表示されます。

- 6 ②-⑧次スキップボタンを押すと、③液晶表示部に“FULL”と点滅表示されます。
- 7 再度②-③録音/削除ボタンを押すと③液晶表示部に“WFI.”が一瞬表示され“REC.”“SD”のアイコンが点滅し再生/録音が始まります。
※録音中は③液晶表示部に“REC.”→曲番号→経過時間が繰り返し表示されます。
- 8 曲が終わると自動的に録音を停止します。③液晶表示部に“END”と表示されます。

■【レコード】【カセットテープ】【ラジオ】【外部入力】を録音する

- 1 録音したい各機能の手順に従い、音源を準備します。
- 2 ⑭SD/SDHCカード挿入口にSDもしくはSDHCカードを挿入します。
- 3 ②-③録音/削除ボタンを押すと、③液晶表示部に“REC.”→“WFI.”→“REC.”の順で表示され、“SD”のアイコンが点滅し、録音状態になります。
- 4 録音したい各機能の音源を再生します。
※再生の仕方は各機能の項目を参照して下さい。
- 5 録音を終了する場合は、②-⑥停止ボタンを押します。③液晶表示部に“END”と表示され、録音が終了します。その後各機能の初期画面が表示されます。
※(レコードの場合は“PHONE”)



注意

- ※途中で録音を終了する場合は②-⑥停止ボタンを押します。
- ※AMラジオは録音時にノイズが乗りやすい為、推奨致しません。
- ※録音速度は1：1の等倍速です。
- ※録音フォーマットは、MP3(128kbps)に設定されています。他の形式は選択出来ません。
- ※ラジオの録音中は受信周波数の調整は出来ません。
- ※SD/USBが認識されない場合、お手持ちのパソコン等で認識されるかご確認ください。

●録音をする

■SD/USB に録音したファイルを消去する

- ⑭SD/SDHCカード挿入口に音声ファイル保存済みのSDもしくはSDHCカードを挿し込みます。
- ②-①機能切替ボタンを数回押し、“[ARR]”を選びます。
- ③液晶表示部に“SD”のアイコンが点灯し、収録ファイル数（10ファイル入の場合は“□ 10”）が表示されます。
- SDもしくはSDHCカードを読み込み、自動的に再生が始まりますので、②-⑥停止ボタンを長押しし、再生を停止します。
- ②-③録音/削除ボタンを3秒ほど長押しします。
- ③液晶表示部に“DEL”→“ONE”と点滅表示されます。
②-⑧次スキップボタンを押すと“DIR”、もう一度押すと“ALL”と点滅表示されますので、消去したいモードを選び、②-③録音/削除ボタンを押すと削除されます。
- ファイルが削除されると、SDカードモードに戻ります。

【消去モードについて】

消去したい項目に合わせて3つのモードから選択出来ます。
ファイルを消去する際は、必ずご希望にあったモードをお選びください。

消去モード 1. ONE：1曲だけ消去したい時に選択します。2曲目以降を消去したい場合は②-⑧次スキップボタンを押して順次選択してください。

消去モード 2. DIR：カードもしくはメモリ内のフォルダのデータを消去します。

消去モード 3. ALL：カードもしくはメモリ内のすべてのデータを消去します。



- ※ MP3ファイルの曲名は表示されません。
- ※ PCで保存したMP3ファイルは消去出来ない場合があります。
- ※ 消去した MP3ファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

●主な仕様

製品共通	電源 (ACアダプタ)	DC12V 1A
	消費電力	15W
	最大外形寸法 (約)	蓋閉時：幅 328 × 高 210 × 奥 295mm
		蓋開時：幅 328 × 高 415 × 奥 295mm
	本体質量 (約)	3.0kg
	ACアダプタコード長 (約)	1500mm
製品材質	MDF合板、ABS樹脂	
スピーカー	実用最大出力	2W + 2W
AM/FMラジオ	受信可能周波数	AM：522 ~ 1620kHz
		FM：76 ~ 108MHz
レコードプレーヤー	回転数	331/3、45、78 rpm
	レコード針材質	サファイア (寿命：約200時間)
カセットプレーヤー	対応テープ形式	Type1 (ノーマル) ※両面60分以内推奨
CDプレーヤー	再生対応ディスク	オーディオCD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	CD-DA、MP3：64 ~ 320kbps
SD/SDHC	対応メディア	SD、SDHC
	ディスク容量	SD：32MB ~ 2GB SDHC：4GB ~ 16GB
	再生対応ファイルフォーマット	MP3：64 ~ 320kbps
USB	録音対応ファイルフォーマット	MP3：128kbps 固定
	対応メディア	USBメモリ (USB2.0/3.0)
	ディスク容量	32MB ~ 16GB ※2~8GB推奨
再生対応ファイルフォーマット	MP3：64 ~ 320kbps	
	録音対応ファイルフォーマット	MP3：128kbps 固定

- ※CD-R、CD-RW、SD、SDHCカードおよびUSBメモリに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。 ※本機のUSB端子は「USB3.1」には対応しておりません。
- ※SD/USBが認識されない場合、パソコンでSD/USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。 ※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。
- ※本機で再生できないディスク コピーコントロールCD：本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。
- ※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。

●交換用レコード針をお求めのお客様へ

破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

【株式会社クマザキエム】TEL：045-473-0002 【直販サイト】<http://www.bearmax.jp>